

第3回検討委員会 開催概要

「道の駅」整備に向けて、検討委員会を開催しました

那珂市では、那珂インターチェンジ周辺地域を核とした活力あふれるまちづくりの実現に向け、複合型交流拠点施設「道の駅」の整備について検討を進めています。

道の駅の整備に向け、学識経験者や市内事業者、市民代表らが参加し、検討委員会を開催しました。9月27日（火）に行われた第3回の検討委員会では、主に導入機能についての意見交換を行いました。

今後は、「道の駅」の候補地やコンセプト・基本理念などを基本構想として取りまとめ、具体的な導入機能や施設規模、概算事業費などについて、交通量情報やビッグデータを用いた需要予測、サウンディング調査等を踏まえた上で慎重に検討を進め、基本構想をより具体化した基本計画の策定に向けた議論を行っていきます。

■ 主な協議内容

- ・整備・管理運営手法について
- ・導入機能について
- ・基本構想(案)について
- ・需要予測について

委員からの主な意見

- 長時間滞在できて「1日遊べる」という、立ち寄りではなく滞在してもらえる道の駅にすると良いと考える。
- 今から行政が先導して、特産品のブラッシュアップや商品開発をしないと間に合わないと考える。
- 体験農場などの農家以外の方に体験してもらえる施設を道の駅に設けることが良いと考える。
- 農福連携が可能であればSDGsの観点からも面白い連携になると考える。
- 雨の日でも子供が遊べ、避難施設としても期待できる屋根付きイベントスペースは重要であると考え。
- 災害が起こることを想定してしっかりと防災設備を設け、市民全員が恩恵を受ける必要がある。
- 那珂かぼちゃなどを使った、分かりやすい特徴を押し出した商品があると良い。
- 那珂市ではサイクルサポートステーションの取り組みも行っており、それを充実させた機能も考えられる。
- 体験、デジタル、交通結節機能を複合的に考えてはどうか。道の駅と周辺の市内をつなぐサービスまで考えられると目を引く試みとなり、地域への経済波及効果も期待できるのではないかと思う。
- 市には有名ではないが美味しいものはたくさんあり、道の駅に行くと食べられる地場産品を前面に出すと良い。

まとめ:活発な議論が行われ、特に、導入機能のアイデアについて多くの意見が挙がりました。

委員の皆様から頂いた貴重な意見を踏まえ、道の駅の整備について検討を進めていきます。

今後の検討委員会のスケジュール（予定）

